

上菅田笹の丘小学校保護者説明会の報告

開催日時 令和4年7月29日 18:00～

場所 上菅田笹の丘小学校 図工室

参加者 保護者 PTA会長他 13名、上菅田笹の丘小学校 3名

建築局3名 教育委員会事務局3名

説明会の説明要旨及び当日説明を求められた事項についてご説明します。

- 1 説明会要旨（説明会当日の主なご意見等）
- 2 工事遅延の経緯
- 3 杭・基礎の詳細工程
- 4 全体工程表（変更後）

1 説明会要旨（説明会当日の主なご意見等）

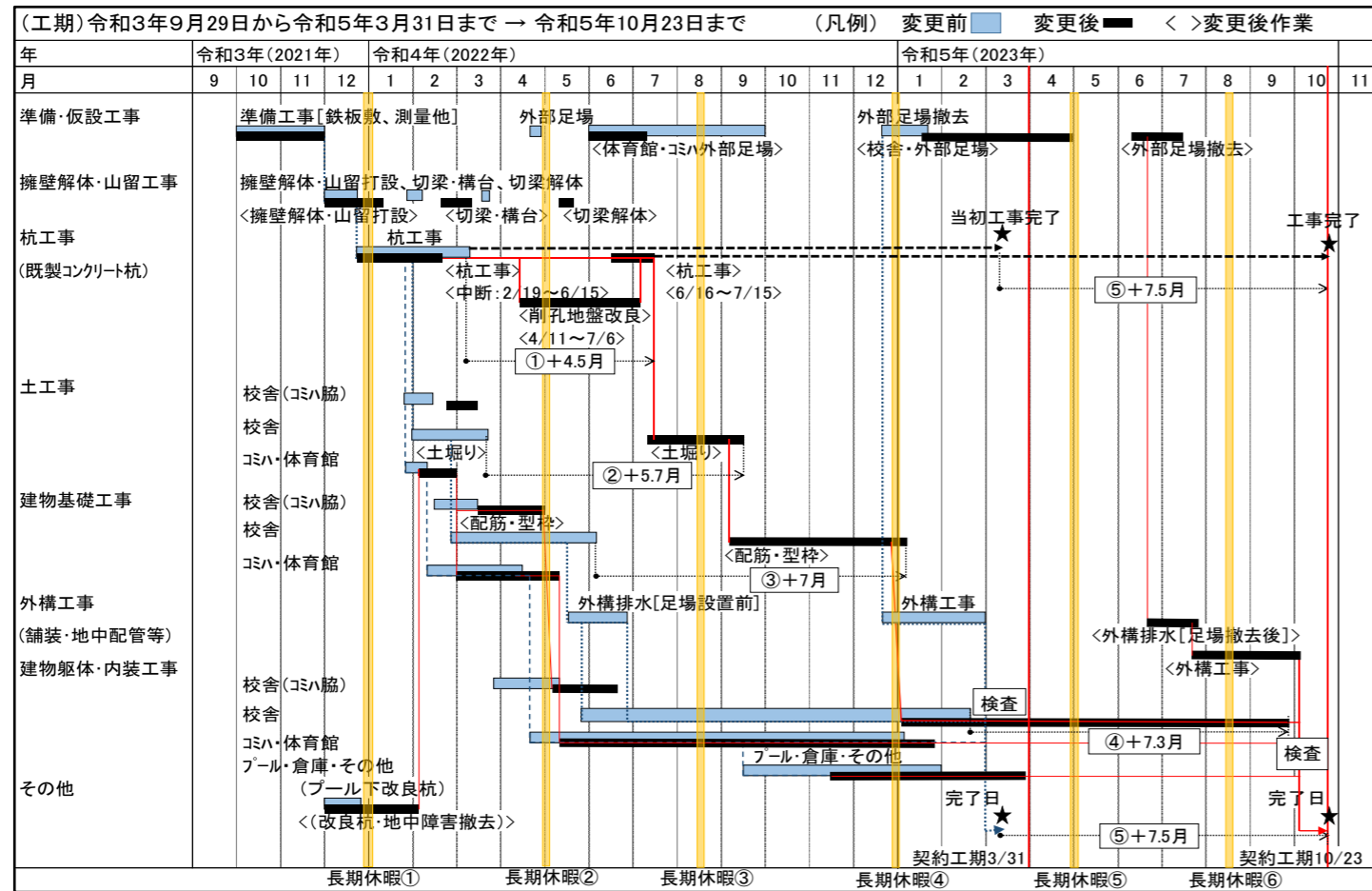
	主な質問・意見	回答
1	令和5年10月23日より工事は遅延しないのか	これ以上の工事遅延が無いよう悪天候による工事中止時期も想定しながら、工程管理を行います。
2	周知をもっと早くしてほしい	遅延が分かった段階で説明すべきでした。確実な工事完成時期を決定してからご報告したため、この時期になりました。
3	なぜこの時期の工事遅延の報告なのか	
4	情報の適宜開示をお願いする	方法を含めて学校と協議し、対応します。
5	周辺自治会にも工事遅延を周知してほしい	一部の会長には説明済みですが、関係の自治会に周知いたします。
6	新校舎に登校開始後、校庭整備を行う予定だが、教育環境は問題無いか	仮囲い等を設置して極力学校に影響ないようにいたします。建替え工事中に少しでも校庭整備に着手できないか施工者と調整します。
7	体育の授業はどうなるか	体育館で実施していただくことになります。
8	供用開始時期を1年遅らせる判断は無かったのか	新6年生が少しでも新校舎を使用できるように考えました
9	工事遅延のもっと詳細な説明をお願いします	資料作成いたします
10	工事遅延の判明から、これまでの経緯を時系列で説明をお願いします。	資料作成いたします
11	再度の保護者説明会をお願いしたい	開催します。
12	オンラインでの開催も検討してほしい	学校長に相談の上、検討します
13	工事遅延が判明した時点で、他の工法への変更は検討しなかったのか	他の工法による工期の更なる延期がないことや、杭の安全性の確保を最重要視して検討した結果、現在の工法が最も適切であると判断しました。
14	工事業者の休みを減らしても工事を早くできないのか。	工事現場周辺の皆様と休日、作業時間の取り決めを行っているため、これらの変更は困難です。なお、今後、台風シーズン等もあり、それらの事象にも対応できるような工程を検討しました。
15	保護者に、いつ開校するかアンケートを行ってほしいか。	ご意見としてお伺いします。
16	児童に工事遅延の説明は行ったのか。行うべきではないのか	教育委員会事務局では説明を行っていませんが、8月29日（月）に説明します。
17	運動会の開催を中学校と連携して考えてほしい。	ご意見としてお伺いします。
18	当初、令和4年度の卒業式を新校舎で実施することになっていたのでないか。	当初から、新校舎での卒業式の開催は困難であることを説明していました。
19	令和4年度の卒業式を別の場所で実施出来ないのか	何が出来るかできないか検討します
20	見守り隊、教育委員会から出してみれば、高齢者ばかりで大変である。	持ち帰り関係課（学校計画課）と相談します。
21	児童に我慢を強いている。	申し訳ございません。

2 工事遅延の経緯

年月日	内容
令和3年9月29日	建替工事契約
令和3年10月20日	建替工事説明会
令和3年12月24日	杭工事着手
令和4年1月11日	No. 37の杭の掘削（土を掘ること）時、杭の穴の周辺の土が崩れたが杭工事を完了。（下記図面参照）
令和4年1月12日	No. 24の杭がまっすぐ入らず引き抜いた。No. 37、No. 24は共に解体した南側旧校舎棟の既存杭の撤去場所に近接していたため、同校舎棟下の33本の杭工事を行わず、他の場所の杭工事を継続した。
令和4年1月24日	No. 81の杭用の穴がまっすぐ掘削（土を掘ること）できず中断した。この場所は、西側旧校舎棟の既存杭の撤去をしていない場所だった。
令和4年2月3日	建築局と設計事務所等は未施工33本の杭工事をどのように行うか検討開始
令和4年2月18日	杭工事を中断（杭133本のうち、100本を完了、33本が未施工）
令和4年3月下旬	建築局と設計事務所等は未施工33本の杭工事の方法を決定。この時点で建築局は当初の工期内で完成できないことを判断した。杭工事どれくらい延びるか検討開始
令和4年3月28日	建築局から教育委員会事務局へ工事遅延を報告（延期期間は精査中）
令和4年4月7日	杭撤去部周辺の地盤改良（地盤を固くする工事）、杭位置及び基礎変更等詳細を決定
令和4年4月11日	地盤改良工事開始
令和4年6月9日	建築局が施工会社に工事完了日（建物引き渡し日 以下同じ）（10/23）を最終確認
令和4年6月13日	建築局から教育委員会事務局へ工事完了日（令和5年10月23日）を報告
令和4年6月14日	学校長に工事遅延について報告。
令和4年6月16日	杭工事再開
令和4年7月1日	学校長と教育委員会事務局が新校舎登校時期及び保護者説明会等について相談
令和4年7月15日	杭工事完了
令和4年7月22日	学校長が児童に移転延期を説明。保護者に説明資料配布
令和4年7月29日	保護者向けの説明会を実施



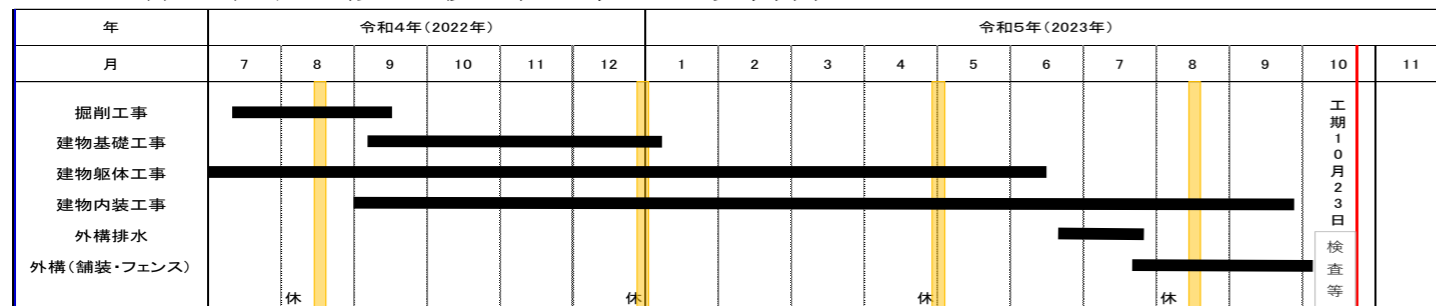
3 杭・基礎工事の詳細工程（工事遅延詳細説明）



《7.5ヶ月工事遅延の説明》

- 杭工事の中断～対策検討～地盤改良～杭工事完了に伴い工事が遅延しました。
(当初の杭工事完了より4.5ヶ月の遅延)
※工事再開後の杭工事期間が当初工程の残工事分より長くなっているのは、地盤改良で固くなった地盤の穴掘り作業となるためです。
- 基礎が大きくなったことで土を掘る範囲が広がったため、土工事の期間が長くなりました。また、当初は杭工事と並行して土工事を計画していましたが、南側と中央の杭工事が後になったため、杭工事用重機と土工事用重機やダンプの同時配置が難しく、杭工事完了後の土工事となったため土工事完了が遅延します。
(当初の土工事完了より5.7ヶ月の遅延)
- 杭の位置を変更したことにより、基礎が大きく、形状も変形したことで、基礎の中の鉄筋量が増え、形状も複雑になり、鉄筋工事の作業期間が長くなりました。また、敷地中央の土工事範囲が広がったことで、土工事と鉄筋・型枠工事との並行作業が短くなり基礎工事完了が遅延します。
(当初の基礎工事完了より7ヶ月の遅延)
- 工事期間中の長期休暇が当初4回から6回に増えるため校舎棟の完了が遅延します。
(当初の校舎棟完了より7.2ヶ月の遅延)
- 当初、短い春休み期間中に引越しを完了しなければならないため、契約工期中の引越し作業開始を計画していましたが、建物の引き渡し日を明確にするため、引越し作業は契約工期より後にしています。
(当初の工事完了より7.5ヶ月の遅延)
※見直し工程では、建物完成後の検査期間と引越し作業は重複しないため、検査期間を短縮しています。
◇工事完了後、机椅子等の備品搬入や給食提供準備を行います。

4 全体工程表（変更後（R4年7月以降））



5 完成模型写真



問い合わせ先

発注担当

教育委員会事務局教育施設課
担当 齋藤・河邊 671-3298

工事担当

建築局学校整備課
担当 竹内・渡部 671-2969